

科目名	グローバルインターンシップ		英文表記	Global Internship		平成26年3月7日		
科目コード	6022Be							
教員名:平山 けい						作成		
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・生物資源工学コース			専2	選	学修	2単位	実習	集中講義
科目目標	グローバルインターンシップでは下記①～④を目標とする ①実践的な技術・語学力を身につける。②異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。③グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。④企業人として責任ある仕事の進め方を理解できる。							
総合評価	①研修中の日誌と報告書 60% ②研修先の評価レポート 20% ③研修後の報告書およびプレゼンテーション 20%							
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合		
	①	海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。(A-1,C-2)		⇒	海外での研修を通して学んだ実践的な技術や語学力を研修中の日誌や報告書により評価する。		30%	
	②	異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。(B-1,C-1)		⇒	異文化理解や協調性等を研修先の評価および提出されたレポートにより評価する。		30%	
	③	海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。きる能力を身につける。(A-1,C-2)		⇒	海外での研究・学習を通してグローバルな視点で物事を考え遂行できる能力を身につけたかを派遣先の評価および報告書やプレゼンテーションをもとに判断し評価する。		40%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	生物資源工学		
	○			◎	JABEEプログラム教育目標	A-1,B-1,C-1,C-2		
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		0	0	20	80	100		
基礎的理解	②				10	10		
応用力(実践・専門・融合)	①、②、③				50	50		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①、②、③				20	20		
主体的・継続的学修意欲	①、②、③			20		20		
授業概要、方針、履修上の注意	企業によりインターンシップ期間が異なるため期間が規定時間数に満たない場合は、インターンシップ前後に企業報告やレポートを課すことで時間数を満たす。1年生でも修得可とする。							
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料、企業広報誌							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1-5	事前研修	5	ローバルインターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンスする(インターンシップ先でのガイダンスを含む)。インターンシップ先の企業研究。	インターンシップ先企業研究	
6-85	海外インターンシップ	80	長期休暇期間中、約14日間程度、海外受入機関(大学・企業)において、研修活動を実施する	技術修得のための予習・復習	
86-90	事後研修及び報告	5	インターンシップの報告書のまとめ、報告会での報告。		
学習時間合計		90	実時間	67.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
① 日誌・レポート作成、技術修得のための予習・復習				1時間×30回	
② インターンシップ先の国の文化・歴史、使用言語等の習得				1時間×15回	
<b>備考欄</b>					
<p>・本科目はJBEE対応科目である。          ・本科目の主たる関連科目はインターンシップ(本科4年)である。</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)